

# 「平泉の文化遺産」の 寺社を知ろう！

世界遺産登録に向けた調査や審査が、いよいよ間近に迫ってきました。それに伴い、さまざまなことを尋ねられる機会も多くなってきています。このコーナーでは、「平泉の文化遺産」を構成する寺社について、それぞれの立場から分かりやすく解説していただきます。

## 第3回 中尊寺経蔵

中尊寺経蔵は、金色堂の西北側（斜め後方）に建っています。『中尊寺建立供養願文』記載の「二階瓦葺経蔵」が、建武4年（1337）の火災で上層部が失われ、下層部のみが残ったものと、寺の言い伝えではそうなっています。また、経蔵伝来の保安3年（1122）の棟札がこの堂のものとして残っています。

建築史の専門家の中には、経蔵に関して、平安時代の建築部材の一部（正面内側の長押ほかの、彩色が施されている部材）を用いて、室町時代初期に建立したものと考えている方もいます。

いずれにしても、中尊寺の中では金色堂の次に古い建造物ということになります。

平成17年に、奈良文化財研究所の光谷拓実氏らにより、金色堂、経蔵と中尊寺の木製文化財について年輪年代測定法による調査が行われました。年輪年代測定法とは、木材の年輪の変動変化を調べることでその木の伐採年代や枯死年代を求める方法です。その結果、新たに、中尊寺経蔵の壁板や床板の一部が、平安時代に伐採された部材であることが判明しました。

平安の古材を一部用いて再建された中尊寺経蔵ですが、今まで考えられていた以上に古材が各所に使用されていたことが分かり、建築学的な価値はさらに高

まったといえるでしょう。

文化財建造物の修理は、100～150年に一度は根本修理（解体修理、半解体修理）が必要とされています。昭和5年（1930）に解体修理された中尊寺経蔵の次の根本修理は、21世紀末から22世紀に入ってからのことと推測されますが、そのときには、最新の科学的な調査が徹底的に行われ、今まで謎とされてきたことの多くが解明されることになるでしょう。

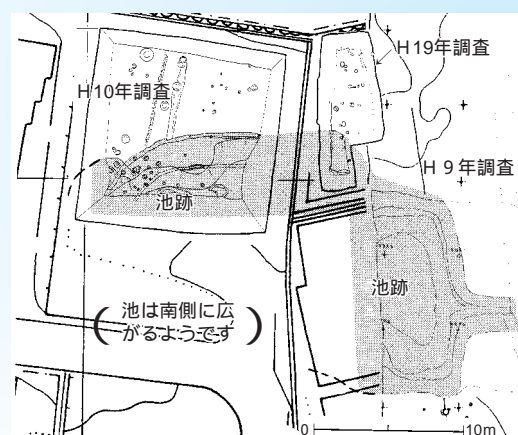
中尊寺 北嶺 澄照



中尊寺経蔵

# 平泉を掘る

平泉では奥州藤原氏の時代に、毛越寺や無量光院、柳之御所のほか、多くの池が造られていました。池・泉は信仰の上で大切であり、景観としても美しく映え



池跡の範囲

## 発掘最前線⑤⑧

### —池跡（志羅山遺跡）—

たことでしょう。藤原氏は池を造る技術や人を持ち、さらに水を所々に導く水路を通し、街全体を整えていたと思われます。

本年度も志羅山遺跡で池跡が見つかりました。縁辺の一部でしたが、この池跡の続きは平成9・10年の発掘調査で見つかっています。これらを合わせると、東西方向では25m以上の大きさになり、南側にも広がります。平成9年の調査では笹塔婆が多く出土し、「祭祀行為が行われた場所」と想定しています。供養をしたり、お祓いをして穢れを水に流したりする場所だったのででしょうか。

出土遺物は、かわらけ、陶器、磁器、漆器や櫛・下駄などの木製品、響など金属製品もあり、多種多様です。

池・泉に満ちた平泉は、まさに「浄土の景観」だったかもしれません。

文化財センター 鈴木 江利子



## ひらいずみ夜祭り

【会場／旧観自在王院庭園内】

□ 7月14日（土）

- ・ 16:00 幼児みこし
- ・ 16:30 よさこいソーラン
- ・ 17:00 神事
- ・ 17:30 よさこいソーラン
- ・ 18:00 玄米ニギニギ体操
- ・ 18:30 ふるさと踊り
- ・ 18:50 尾川夫妻による舞踊
- ・ 19:30 宵宮・山王太鼓
- ・ 20:30 閉会

地域宵宮 平泉（瀬原地区）18:00～18:45

## 平泉商工会夜市

【会場／旧観自在王院庭園内】

□ 7月14日（土） 16:00～20:30

## 神輿渡御タイムスケジュール

【会場／旧観自在王院庭園内】

□ 7月15日（日）

- ・ 9:00 集合
- ・ 10:00 神輿渡御  
子ども神輿・中神輿・親神輿
- ・ 10:10 毛越寺境内
- ・ 10:45 4号交差点
- ・ 11:00～11:20 小休止・駅前広場でよさこいソーラン実演
- ・ 12:10 坂下到着
- ・ 12:10～13:00（昼食）
- ・ 12:45 よさこいソーラン実演
- ・ 13:00 坂下出発（山王太鼓を合図に）
- ・ 13:40 金色堂前到着 参拝
- ・ 14:30 宮入（旧観自在王院庭園）

◎問い合わせ先…平泉神輿会事務局  
（教育委員会内 荻山）☎46-5576



## 神輿担ぎを練習します

日時…7月3日（火）、6日（金）18:00～  
場所…町営毛越寺駐車場（雨天時は平泉小体育館）

# 思い出話に花咲かす

## 東京でふるさと平泉会総会

関東地方在住の平泉町出身者で組織する「ふるさと平泉会」（西村専次会長、会員209人）の19年度総会・懇親会が6月3日、東京都台東区の浅草ビューホテルで開かれ、会員や関係者など合わせて約120人が参加しました。

総会では、ふるさととの交流や会員の拡大、世界遺産登録に

に向けた支援協力、平泉大文字まつりへの協賛などを盛り込んだ事業計画をはじめ、提出した議案すべてが原案通り承認、可決されました。また役員改選では、西村会長が再選されています。続いて開かれた交流会では、それぞれの再会を祝して声高らかに乾杯。ビンゴゲームやマジックショー、カラオケ大会などで和みながら平泉での思い出話に花を咲かせた参加者は、再会を誓いながら、元氣な三本締めで総会・交流会を締めくくりました。



盛大に開かれた総会・懇親会



思い出話などで楽しい時間を過ごした